

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画

令和4年度 取組結果

亀 岡 市

実施計画 取組項目一覧

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 ①市民目線に立った窓口サービスの構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
1	窓口サービスの充実・事務改善	企画調整課・市民課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
2	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実	広報プロモーション課	情報発信を行う各課	実施	実施	実施	実施	実施
3	市民協働の推進	市民力推進課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
4	公民連携によるまちづくり	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 ①分野横断的な組織体制の構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
5	庁内連携システムの確立	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
6	人材の育成、職員研修の充実	人事課・市立病院経営企画室	-	実施	実施	実施	実施	実施
7	人事評価制度の運用	人事課	-	実施	実施	実施	実施	実施
8	業務効率を高めるためのICTの活用	企画調整課・情報政策課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
9	電子決裁の推進	総務課	企画調整課、財政課、会計課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 ①経常的経費の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
10	経常的経費を含む事務事業の検証	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
11	元金償還額を上回らない市債の発行	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
12	公共施設マネジメントの推進	財産管理課	各施設所管課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②受益と負担の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
13	受益者負担の適正化	企画調整課・教育総務課	使用料・手数料の所管課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-①市民目線に立った窓口サービスの構築

実施計画シート							
No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善				
所管課	企画調整課・市民課		関係課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課			
取組内容	・窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率的な案内方法等について、充実、事務改善を図る。 ・死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約制による職員派遣型ワンストップ（※）窓口として、おくやみ窓口を設置する。						
期待される効果	窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間を減少させる。 複雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る。高齢の遺族も安心して手続きが出来る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①窓口業務のあり方の検討						
	対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査）		準備	実施	実施		
	他市の状況調査		準備	実施			
	窓口業務のあり方の検討・改善			準備	実施	実施	実施
	②おくやみ窓口の設置						
	各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務フロー決定		実施				
設置場所・設備関係の調査 設備の設置		実施					
おくやみ窓口の運用			実施				
目標指標	数値目標	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	1	2	2
		おくやみ窓口の設置	90%	100%	—	—	—

進捗管理シート						
R4年度 実施状況	上半期 計画	【①窓口業務のあり方の検討】 対象となる窓口業務の検討		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 庁内各課の窓口業務の事務改善、デジタル化の状況調査の実施	
	下半期 計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（14件）	
実施結果の 自己評価	評価	デジタルファースト宣言にオンライン手続きを9、窓口その他を2、合計14件の事務に基づく行政手続きのデジタル化・オンライン化の推進により、サービスのデジタル化を1、インターネット予約受付を2、改善を行い、市民サービスを向上させた。				
	達成度	計画	3	目標	5	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組		—				
今後の方向性		継続	コメント	引き続きデジタル化を中心に窓口サービスの改善に努める。		
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

※ワンストップ…1カ所の窓口カウンターで手続きをすること。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善	所管課	企画調整課
令和4年度上半期の取組実績			<p>【窓口業務の事務改善、デジタル化の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種申請・手続きのオンライン化：4業務 <ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ回収予約（資源循環推進課） ・犬の登録（環境政策課） ・後期高齢者医療制度および国民健康保険の集団検診や人間ドッグ助成申込（保険医療課） ・がん検診の申込（健康増進課） <p>（参考）令和2年度および令和3年度の窓口改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おくやみハンドブックの配布、おくやみ窓口の設置、PayPay等キャッシュレス決済の導入、各種申請書の押印省略 		
令和4年度下半期の取組実績			<p>【窓口業務の事務改善、デジタル化の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種申請・手続きのオンライン化：5業務 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの利用登録申込（SDGs創生課） ・住民記録に関する証明書交付請求（市民課） ・税に関する証明書交付請求（税務課） ・市・府民税申告（税務課） ・水道料金・下水道料金の減額申請（お客様サービス課） ●窓口サービスのデジタル化：1業務 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用した「書かない窓口」の環境整備（SDGs創生課、市民課、税務課、環境政策課、資源循環推進課、健康増進課、子育て支援課、お客様サービス課） ●インターネット予約受付：2業務 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談（子育て支援課） ・申告相談会（税務課） ●その他：2業務 <ul style="list-style-type: none"> ・「かめおか 暮らしのナビ」（情報政策課） ・「市道不具合通報システム」（土木管理課） 		
今後の課題			<ul style="list-style-type: none"> ・各種申請のデジタル化の推進にあたっては、個人情報取り扱い及び本人確認書類の確認方法について、法令・規則等に従い適正に対処する必要がある。 ・紙での申請される方を電子申請に促すことができれば、集約が簡素化される。申請方法の改善、データ管理体制の構築が課題である。 ・インターネット予約に対応できない方への配慮が必要である。 		

(参考)

進捗管理シート

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	【②おくやみ窓口の設置】 各業務の対応時間確認、連携方法の検討 設置場所、設備関係の調査			実績	【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口開設に向けた調査(手続き 項目、手続き内容、所要時間、課題等) おくやみ窓口に係るワーキング会議の 開催(窓口の運用、課題、設置場所の 検討等)
	下半期	計画	【②おくやみ窓口の設置】 業務フロー決定 設備の設置			実績	【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口に係るワーキング会議の 開催(業務フロー決定、設置に係る詳細 の検討等) 設備の設置(レイアウト変更、諸設備工 事)、おくやみ窓口開設の試行運用開始
実施結果の 自己評価	評価	【②おくやみ窓口の設置】 本格稼働に向けた試行運用として、当初の予定より早くおくやみ窓口を 開設することができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値)	100%
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	【②おくやみ窓口の設置】 本格稼働に向けてワーキング会議を開催し業 務内容等の見直しをする。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4	II目標	4	III妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況等の分析 【②おくやみ窓口の設置】 利用者アンケートの実施			実績	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況調査 【②おくやみ窓口の設置】 利用者アンケートの実施、ワーキング会議の開 催(改善点の洗い出し・試行運用状況の分析 等)、本格稼働、広報の実施
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況等の分析、対象となる窓口業務の洗 い出し(庁内調査) 【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口の運用状況の検証			実績	【①窓口業務のあり方の検討】 対象となる窓口業務を検討していくため、先進 事例の調査を実施 【②おくやみ窓口の設置】 ワーキング会議の開催(運用状況の確認、イン ターネット予約の開始時期の決定)、インター ネット予約の開始
実施結果の 自己評価	評価	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の取組状況を調査し、今後の取組の参考とした。 【②おくやみ窓口の設置】 インターネット予約の開始により遺族の利便性を向上させた。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口サービスを充実させていくため、窓 口業務の事務改善に向けた取組を進める。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	—	III妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	3	取組項目	市民協働の推進				
所管課	市民力推進課	関係課	全課				
取組内容	職員や市民、事業者等に対して地域の課題解決の必要性やそのための市民活動と協働について理解を深める手法を検討し、実施する。						
期待される効果	市民活動に参画する機運が高まり、関わる人が増える。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	市民活動と協働について理解を深める手法の検討・知る機会の創出		実施	実施	実施	実施	実施
	地域課題の共有と課題解決に向けた協働の促進		準備	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R4年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供		実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（1回）、まちづくりワークショップの開催（1回）	
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 市内各地域の特性にあった市民活動推進方法の検討		実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（2回）、まちづくりワークショップの開催（1回）、市内各地域の特性にあった市民活動推進方法の検討	
実施結果の 自己評価	評価	まちづくりワークショップについては開催2回のうち1回を市民活動推進センターと協力して実施することにより、多様な参加者が集まる充実した内容のものになった。多様化する市民活動に関する相談・要望に柔軟に対応できるよう引き続きセンターと協力しながら支援を行っていく。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	市民活動に関する事業への参加者を増やし、より市民活動への参画を促せるよう取り組んでいく。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	3	取組項目	市民協働の推進	所管課	市民力推進課
		令和4年度上半期の取組実績	<p>①広報、周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡市の広報誌やホームページ、SNSで市内の団体の行う事業（支援金活用事業・後援事業）や市民活動を支援する制度の広報を行った（30件）。 ・ 令和3年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の事業報告をギャラリーかめおか及び市庁舎で掲示し、市民活動を広く周知するとともに、市職員向けにも活用事業を紹介することにより周知を行った。 <p>②まちづくり協働推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働によるまちづくりの事業計画の検討や支援事業の審査等を行った（1回）。 <p>③まちづくりワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりに関するワークショップを8月27日に開催。学生、市民活動団体など21名が参加した。 ・ 参加団体（8団体）による活動紹介や地域の課題解決に向けての意見交換を行い、他団体の活動を知る交流の場となった。 ・ 当日参加できなかった団体（4団体）及び市民活動推進センター登録団体（96団体）の活動についてもパネル展示による紹介を行った。 		
		令和4年度下半期の取組実績	<p>①広報、周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡市の広報誌やホームページ、SNSで市内の団体の行う事業（後援事業）や市民活動を支援する制度等の広報を行った（36件）。 ・ ふるさと亀岡まちづくり応援事業を活用している団体の事業について、広く市民への広報だけではなく、市職員向けにも発信することで周知を行った。 <p>②まちづくり協働推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の検討や市の支援制度に応募のあった事業についての協議を行った（2回）。 <p>③まちづくりワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりに関するワークショップ（市民活動推進フォーラム）を2月26日に開催し、学生、市民活動団体、自治会関係者など37名が参加した。 ・ 4団体による活動に関する事例発表や、意見交流を行い、既に活動を行っている参加者については活動のPRの重要性や活動を継続する必要性を認識し、活動を行っていない参加者については既存の活動を知るきっかけとなった。 <p>④その他、協議・検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡市の助成制度を活用している団体を中心に、それぞれの活動場所に出向く等して情報収集・方法の検討を行った。立地や住民構成により確保できる担い手や必要な活動内容が違う中、市民全体に対する協働推進だけではなく、また地域ごとに方法を設定するのではなく、各地域で必要とされる支援を柔軟に行う必要性を認識した。 ・ 引き続き市民活動への参画の機運を高めるための事業を行うと共に、各団体からの要望に対して、庁内や他団体とも連携を取りながら市民活動の活性化支援を行っていく。 		
		今後の課題	<p>まちづくりに関するワークショップの参加者増加の方法を引き続き検討する必要がある。</p>		

(参考)

進捗管理シート

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	市民活動や協働に関する事例の提供			実績	亀岡市ホームページやコミュニティ紙における 広報
	下半期	計画	まちづくりに関するフォーラムの開催			実績	市民活動団体へのアンケートの実施
実施結果の 自己評価	評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためフォーラムは中止したが、市民活動団体へアンケートを実施し、現在の活動状況や課題、市の支援金事業への意見をいただいた。令和3年度事業に反映したほか、今後の事業の検討材料とする。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	アンケート結果の詳細分析を実施し、現在の支援金制度の課題を把握し、改善に努める。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	—	III妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 市民・事業者アンケート実施準備			実績	亀岡市ホームページにおける広報 事業者向けアンケートの実施に向けた検討 まちづくり協働推進委員会の実施
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 市民・事業者アンケート実施			実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働 推進委員会の開催（2回）、まちづくりワークショッ プの開催（1回）、事業者向けアンケートの実施
実施結果の 自己評価	評価	フォーラムは下半期に1回のみ開催となったが、参加者の満足度の高い交流の場となった。また、事業者を対象に市民活動への参画状況や意識を問うアンケートを実施、分析結果については今後の事業に活用する予定。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	協働に新たに参画する個人、事業者が増えるような情報発信、イベントの開催を継続する。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	—	III妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート							
No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用				
所管課	企画調整課・情報政策課		関係課	全課			
取組内容	効率的で持続可能な行財政運営を推進するため、RPA（※）を始めとする業務の効率化が期待できるICT（情報通信技術）の活用を図る。						
期待される効果	業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	RPAの活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI-OCR（※）活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI（※）の活用検討			実施	実施	実施	実施
	ICTツールの調査研究			実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	RPA適用を検討・導入した事務数	3	5	5	5	5

進捗管理シート							
R4年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング（操作研修）、AI活用に関する調査、ICTツールの調査研究		実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング（操作研修）、AI活用に関する調査、ICTツールの調査研究	
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討		実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討	
実施結果の 自己評価	評価	各業務担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。 実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。					
	達成度	計画	4	目標	3	目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかに行っていく必要がある。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。
 ※AI-OCR…人工知能（学習機能）を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。
 ※AI…人工知能のこと。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用	所管課	企画調整課・情報政策課
令和4年度上半期の取組実績			<ul style="list-style-type: none"> ○RPA、AI-OCR運用 <ul style="list-style-type: none"> ・市民課 ほか6課 ○RPAシナリオの作成（1業務） <ul style="list-style-type: none"> ・保険医療課：後期高齢者医療保険 口座振替依頼書情報登録業務 ○RPA操作研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・操作研修会実施（8/24） 22名参加 ○AI活用に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・AIを活用した文字起こし作成支援ソフトウェアの導入 ○ICTツールの調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きのデジタル化・オンライン化に向けた行政手続きガイドサービスの導入準備 		
令和4年度下半期の取組実績			<ul style="list-style-type: none"> ○RPA、AI-OCR運用 <ul style="list-style-type: none"> ・市民課：住民異動月次資料作成 ・税務課：市民税申告書入力業務他 ・保険医療課：国保、後期 口座振替依頼書情報登録業務 ・地域福祉課：非課税世帯臨時特別給付金等申請受付業務 ・保育課：保育所入所決定結果登録業務 ・お客様サービス課：漏水減額等還付伝票作成業務 ・教育総務課：支出負担行為兼支出伝票作成業務等 等 ○RPAシナリオの作成（計4業務） <ul style="list-style-type: none"> ・税務課：還付伝票作成業務、個人住登外送付先設定業務 ・SDGs創生課：ふるさと納税ワンストップ特例申請（さとふる）入力業務 ・地域福祉課：電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金申請受付業務 ○AI活用に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・AIを活用した文字起こし作成支援ソフトウェアの運用 ○ICTツールの調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きのデジタル化・オンライン化に向けたデジタル窓口用タブレット端末等の調達・配備 ・行政手続きのデジタル化・オンライン化に向けた窓口予約サービスの導入準備と導入 		
今後の課題			<p>RPA導入から4年が経過し、運用が安定してきている。運用シナリオの増加につれてRPAシナリオを稼働できる端末のやりくりが発生してくるため、繁忙期等を勘案しながら、計画的に台数を確保していく必要がある。また、今年度ソフトウェアのバージョンアップ作業があり、検証から実行まで2カ月かかった。3年に一度は必須となる作業のため、今回の作業に係る反省点等を引き継いでいく必要がある。</p>		

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 運用ルール策定、シナリオ作成			実績	RPA、AI-OCR運用（特別定額給付金事務等） RPA運用ルールの整理
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成 次年度RPA適用業務の検討			実績	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成、 職員研修会実施、次年度RPA適用業務の検討
実施結果の 自己評価	評価	コロナ禍のためWGの開催はできなかったが、各担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。					
	達成度	計画	4	目標	4	目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかに行っていく必要がある。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング の実施、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究			実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング、 ICTツールの調査研究、AI議事録の実証
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討			実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討
実施結果の 自己評価	評価	コロナ禍のためWGの開催はできなかったが、各担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。					
	達成度	計画	4	目標	3	目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかに行っていく必要がある。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	3	III 妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	9	取組項目	電子決裁の推進				
所管課	総務課	関係課	企画調整課、財政課、会計課				
取組内容	迅速な意思決定と効率的な事務執行のため、電子決裁の浸透と対象範囲の拡大に取り組む。						
期待される効果	事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	運用状況の把握、先行自治体等の調査・研究		実施				
	庁内における推進体制の確保		準備	準備	実施	実施	実施
	環境整備（財務会計システムとの連携、機器の導入、各種規程の見直し）			準備	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R4年度 実施状況	上半期	計画	電子決裁運用拡大後の効果の検証、課題の整理、ワーキング会議の開催	実績	電子決裁の課題の整理及び財務会計システムとの連携に向けた、新システム等の情報収集		
	下半期	計画	財務会計システムとの連携に向けた環境整備	実績	財務会計システムとの連携をするための新システム導入経費の確保		
実施結果の 自己評価	評価	文書管理システムと財務会計システム一体での更新を実施するための債務負担行為の設定など、令和6年度中の本稼働に向けた今後の方針を決めることができた。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	令和6年度の本稼働に向けて、システムの構築・導入に向けた契約事務等を進める。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	9	取組項目	電子決裁の推進	所管課	総務課
令和4年度上半期の取組実績			<p>●運用拡大本格実施に向けた情報収集 電子決裁の対象外している負担行為伺いについて、財務会計システムとの連携方法の選定のため、情報収集を行った。 財務会計システムの保守に伴うサポートが令和5年10月で終了することから、文書管理システムと財務会計システムを一体で更新する場合の新システムの導入も視野に入れ、各関係課とともにシステム業者からデモンストレーションにより説明を受けた。</p> <p>※文書管理システム 庁内の意思決定および市予算の支出決定等を行う文書を作成するためのシステム。これまでは伺い文書の表紙作成および文書管理のために活用していたが、電子決裁の導入により、紙に印刷することなく、各職員の業務用PCにおいて閲覧および決裁が可能となった。</p> <p>※財務会計システム 実際に市予算の支出等を行う伝票を作成するためのシステム。現在、紙で出力した伝票と伺い文書を会計課が審査する運用としており、伝票審査のため、伺い文書についても電子決裁の対象外としている。</p>		
令和4年度下半期の取組実績			<p>これまで検討してきた内容を踏まえ、文書管理システムと財務会計システムの連携を見据えて一体的に更新することや、導入に向けて庁内ワーキンググループを構築すること等、スケジュールも含めた具体的な方針を決定することができた。 また、令和6年度の本稼働に向けて、令和5年度にシステムの構築・導入に係る契約を締結するための債務負担行為を当初予算で設定することができた。</p> <p>○令和4年度電子決裁率：50.1%</p>		
今後の課題			<p>文書管理システムと財務会計システムに搭載する機能等、具体的な両システムの仕様を決定すること。</p>		

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	電子決裁の運用状況の把握 近隣市及び先行自治体の調査・研究			実績	電子決裁の運用状況の把握 近隣市の導入状況の調査
	下半期	計画	課題の整理、効果の試算 庁内推進体制の整備			実績	現状把握と課題の整理 庁内推進体制の整備に向けた検討
実施結果の 自己評価	評価	近隣市の導入状況の調査や、電子決裁の運用状況を把握する中で、一定課題の整理ができた。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	庁内推進体制の整備を進め、職員への意識調査を行うなど、引き続き電子決裁の運用拡大に向けた課題の洗い出し、検討を進めていく。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	課題の整理、効果の試算 環境整備（複合機の導入検討）			実績	先行自治体への視察、課題の整理 電子決裁の対象範囲拡大に向けた検討
	下半期	計画	電子決裁操作研修、意識調査			実績	電子決裁操作研修の実施、電子決裁の対象範囲 の拡大
実施結果の 自己評価	評価	当初の計画から前倒しして、電子決裁の一部運用拡大を行うことができた。					
	達成度	計画	5	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	今後の運用拡大本格実施に向けて、財務会計システムとの連携など環境整備を行い、業務の効率化を図る。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	—	III 妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート							
No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり				
所管課	企画調整課		関係課	全課			
取組内容	民間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。						
期待される効果	民間活力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	民間企業等との連携、協定締結の推進		実施	実施	実施	実施	実施
	包括協定（※）に基づく施策の推進		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-		-	-	-	-

進捗管理シート						
R4年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定に関する状況把握		実績	上半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況 の調査実施 包括協定を3件締結
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定締結結果の検証		実績	下半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況 の調査実施 包括協定を1件締結
実施結果の 自己評価	評価	連携協定の全庁的な活用状況を調査することで、これまでの成果や、課題の把握が可能となり、今後の連携協定や取組の参考となる資料を作成することができた。また、包括協定を新たに4件締結し、シティプロモーションやSDGs等の取組を推進するきっかけとすることができた。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組		-				
今後の方向性		継続	コメント	引き続き連携協定の活用状況の把握に努め、他市事例も参考にしながら、所管課に対して有効活用の働きかけを行う。		
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

※包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり	所管課	企画調整課
		令和4年度上半期の取組実績	<p> ≪民間企業等との包括協定締結：3件≫ ●締結先：朝日放送グループホールディングス(株) 協定締結日：令和4年4月18日 連携内容： 産業・観光振興及び情報発信等、地域の活性化及び市民サービスの向上を図り地域創生に資することを目的とする。 </p> <p> ●締結先：損害保険ジャパン(株) 協定締結日：令和4年8月1日 連携内容： 環境に配慮した取り組みを経済的・社会的価値を創造しながら進め、世界に誇れる環境先進都市の実現を目指す。 </p> <p> ●締結先：総合警備保障（株）（ALSOK） 協定締結日：令和4年9月30日 連携内容： 市民の防災及び防犯意識の向上を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりの更なる推進を図ることを目的とする。 </p> <p> ≪民間企業等との個別連携協定締結：6件≫ ●SDGs推進に関する協定 協定締結日（締結先）：令和4年6月22日（三井住友海上火災保険(株)） ●災害時相互応援に関する協定 協定締結日（締結先）：令和4年6月23日（能勢町、豊能町） ●大規模災害時における停電復旧等に関する協定 協定締結日（締結先）：令和4年9月1日（関西電力送配電(株)） ●未来づくり環境パートナーシップ協定 協定締結日（締結先）：令和4年5月13日（(株)斗々屋） 協定締結日（締結先）：令和4年8月17日（(株)ecommit） </p>		

<p>令和4年度下半期の 取組実績</p>	<p> ≪民間企業等との包括協定締結：1件≫ ●締結先：デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社 協定締結日：令和5年1月30日 連携内容： 「府立京都スタジアム」や亀岡市が持つ豊かな歴史文化、観光地等、様々な資源を通じて地域の産業振興に取り組み、地域経済の発展を促進することを目的とする。 </p> <p> ≪民間企業等との個別連携協定締結：8件≫ ●「みんな元気になるトイレ」派遣協力などに関する協定 協定締結日（締結先）：令和4年12月14日（（一社）助けあいジャパン） ●ドライブレコーダーによるまちの見守り協定 協定締結日（締結先）：令和5年3月20日（（株）京都ウエスト） 協定締結日（締結先）：令和5年3月20日（南丹清掃（株）） 協定締結日（締結先）：令和5年3月20日（日進浄化槽センター（株）） ●亀岡市要支援者発見・通報事業 協定締結日（締結先）：令和4年10月20日（宅配クック123亀岡支店） 協定締結日（締結先）：令和4年10月25日（（有）ケントハウジング） 協定締結日（締結先）：令和4年11月28日（ライフデリ亀岡店） ●空き家等解消に向けた官民連携 協定締結日（締結先）：令和4年10月28日（（株）クラッソーネ） </p> <p> ≪令和4年度までに締結した連携協定の活用状況≫ ●合計184件（包括協定：11件、個別協定：173件） ●令和4年度の主な取組・成果 <ul style="list-style-type: none"> ・あいおいニッセイ同和損保との包括連携協定に基づき、保育施設向けのセミナーや、公用車の安全運転に関する研修を実施した ・39件の災害に関する協定に基づき、有事に備えた体制を整えた ・環境に関する協定に基づき、市内中学校等での環境教育を実施した ・不法投棄の監視に関する協定に基づく連携の結果、回収件数が大幅に改善した（H30:19件→R4:4件） ・レジ袋削減に関する協定に基づく情報発信によりエコバッグ持参率の向上につながった（令和2年1月82.6%→令和5年1月98.0%） </p>
<p>今後の課題</p>	<p>各企業等の提案と担当課のニーズにギャップがあり事業実施に至らないケースがある。 複数の課が関わる包括協定の場合、それぞれの実施事業決定までの調整に時間を要する。</p>

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 包括協定に基づく施策の推進			実績	民間企業等との連携、協定締結 新たな包括協定の締結に向け、1社と具体的な協議を進行
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 包括協定に基づく施策の推進			実績	民間企業等との連携、協定締結 上半期に協議を進行していた1社と包括協定を締結 民間企業等との連携・協定締結状況の調査
実施結果の 自己評価	評価	民間企業等と新たな協定を締結した。 庁内の状況把握及び課題把握に向け、協定締結状況等の調査を実施した。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	今後は、調査結果の分析及び課題把握を行う。また、他市の公民連携の取組事例の調査を行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	—	III妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する課題把握			実績	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する状況及び課題把握のための調査
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 他市の公民連携の取組事例の調査及び調査結果の共有			実績	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する状況及び課題把握のための調査、他市の公民連携に関する取組事例調査・結果の共有
実施結果の 自己評価	評価	民間企業等との新たな包括協定の締結には至らなかったが、所管部を対象に民間企業からの説明会を実施するなど、積極的に推進した。 庁内の状況把握及び課題把握に向け、協定締結状況等の調査を実施した。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	引き続き、他市の公民連携の取組事例の調査を行い、所管部及び民間企業に対して積極的な働きかけを行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	—	III妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

実施計画シート							
No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立				
所管課	企画調整課		関係課	全課			
取組内容	様々な行政課題に対応するため、プロジェクトチームやワーキンググループ等を活用し、課を越えた横の連携を強化する。 組織の活性化と行政運営の効率化を図るため、プロジェクトチーム等の設置のあり方を見直す。						
期待される効果	横の連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		実施	実施	実施	実施	実施
	プロジェクトチーム、ワーキンググループの現状及び課題の把握		実施	実施	実施		
	プロジェクトチーム、ワーキンググループ設置のあり方を見直し			準備	実施	実施	実施
	多様な連携方法の検討・試行					実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート						
R4年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査（令和3年度に 設置のプロジェクトチーム等）	実績	上半期の設置状況及びこれまでに設置したプロ ジェクトチーム、ワーキンググループの活用状 況の調査実施	
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 課題を改善していくための方策を検討	実績	下半期の設置状況及びこれまでに設置したプロ ジェクトチーム、ワーキンググループの活用状 況の調査実施	
実施結果の 自己評価	評価	これまでに設置したプロジェクトチーム等の活用状況を調査することで、これまでの成果の把握や 目的を達成し、廃止したグループを整理することができた。また、今後の効果的な運用に向けて全庁 的なマニュアル作成が必要であると考え、令和5年度中に作成、周知を行うこととした。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組		-				
今後の方向性		継続	コメント	活用状況の把握に努め、課題整理を行うとともに、運用マニュアル作成 にむけた検討を行う。		
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立	所管課	企画調整課
令和4年度上半期の取組実績			<p>《プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の設置：2件》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「亀岡市と朝日放送グループホールディングス株式会社との包括連携協定」に係るワーキンググループの設置 設立日：令和4年5月20日 目的：令和4年4月18日に締結した包括協定に基づき、亀岡市が持つ地域資源（サンガ、歴史文化、霧、ふるさと納税）を朝日放送GHDが持つコンテンツデザイン力で効果的に高め、事業実施に向けて施策を具体化・実現していくためワーキンググループを設置した。（10月13日、4グループから市長へ提案） ●LGBTQ+の理解を深める庁内検討会議の設置 設立日：令和4年4月28日 目的：どんな性のあり方でも、尊重され、まわりに認められることで、全ての人が生きやすい社会の実現を目指すため、職員の理解を深めるとともに、市としてどのような取組が必要かなどを検討する。 <p>《令和3年度までに設置したプロジェクトチーム等の活用状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主な取組・成果 【PayPay導入検討ワーキンググループ】 ・各種証明書や施設使用料等 の支払いについて、QRコード決済の導入を検討し、令和3年4月1日から市民課窓口等で受付を開始。 【粗大ゴミ回収予約のオンライン化を検討するグループ】 ・LINE等を活用したインターネット予約について検討。令和4年7月からインターネット予約による粗大ごみ回収を開始し、クレジットカード決済にも対応。 		
令和4年度下半期の取組実績			<p>《プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の設置：0件》</p> <p>《令和4年度までに設置したプロジェクトチーム等の活用状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●継続：14グループ、廃止：10グループ ●令和4年度の主な取組・成果 【「亀岡市と朝日放送グループホールディングス株式会社との包括連携協定」に係るワーキンググループ】 ・テーマ別に4グループに分かれ、朝日放送グループ社員との協働による企画作りから市長プレゼンまでを行うことで、職員のコンテンツデザイン力向上に寄与した。 【かめおかブランド戦略プロジェクト】 ・子育て世帯の移住促進に向けた戦略的なブランディングを検討する会議を実施。「愛せるまちで、育てたい。」という新たなキャッチコピーやホームページおよび広告を作成し公開した。 【LGBTQ+の理解を深める庁内検討会議】 ・LGBTQ+の理解を深める取組を検討する会議を実施。職員の理解を深めるための研修会を実施したほか、シンボルマークの作成、多目的トイレの表示変更などを行った。 		
今後の課題			<p>ワーキンググループ等の参加者の通常業務に支障をきたさないよう配慮するとともに、効率的・効果的な行政サービスの向上のため、課を超えた横の連携の重要性のさらなる浸透が必要である。</p>		

(参考)

進捗管理シート									
R2年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用			実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査			実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の 活用状況についての調査		
実施結果の 自己評価	評価	プロジェクトチーム・ワーキンググループの会議を開催し、様々な課題について協議、検討を行った。 庁内の状況及び課題把握に向けた取組を行った（活用状況についての調査を実施）。							
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組		-							
今後の方向性		継続	コメント	今後は調査結果を分析し、課題整理を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査			実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 調査結果の分析			実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 、現状及び課題把握のための調査・課題の整理		
実施結果の 自己評価	評価	プロジェクトチーム・ワーキンググループの会議を開催し、様々な課題について協議、検討を行った。 庁内の状況及び課題把握に向けた取組を行った（活用状況についての調査を実施）。							
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組		-							
今後の方向性		継続	コメント	引き続き、活用状況の把握に努め、課題整理を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート							
No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実				
所管課	人事課・市立病院経営企画室	関係課	—				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。 ・日々発生する医療の課題に対して、各部署参加の委員会、研修会を実施し、病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力を強化する。 						
期待される効果	職員の業務能力の向上、職員の仕事に対するモチベーション向上						
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画	①人材の育成、職員研修の充実						
	研修計画の策定と運用	実施	実施	実施	実施	実施	
	職員研修、他団体への派遣研修	実施	実施	実施	実施	実施	
	②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化						
	医療安全管理に係る研修会	実施	実施	実施	実施	実施	
	感染対策に係る研修会	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	選択希望制研修の延べ受講者数	100	105	110	115	120
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	2	2	3	3	3

進捗管理シート							
R4年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会	実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る自己研修、感染対策に係る情報発信の実施		
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会	実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施		
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 コロナ禍のなかで、レジリエンス研修やeラーニング研修などを実施することができた。					
	達成度	計画	3	目標	4	目標 (実績値)	188人
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 研修会を計3回実施することができた。研修により、医療安全及び感染症に関する知識を得て、職員の能力向上をすることができた。地震発生訓練では初動対応をシミュレーションし、実際に行動することで理解を深め、また課題点も見つかり非常に有用であった。					
	達成度	計画	4	目標	3	目標 (実績値)	3回
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 今後も継続して、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理及び感染対策に係る研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	II 目標		III 妥当性		
		② I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実	所管課	人事課・病院管理部経営企画室
令和4年度上半期の取組実績	<p>【①人材の育成、職員研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度職員研修計画を策定し、運用を行った。 ○職員研修（市主催）を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修：新規採用職員研修など ・選択希望制研修：レジリエンス研修 ○派遣研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・JIAM：「これからの子育て支援」、「自治体におけるDXの推進」など4件 ○他団体への派遣研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社博報堂、株式会社京都パープルサンガ、一般社団法人森の京都地域振興社、京都府 				
	<p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策：新型コロナウイルス感染症診療の手引き等を電子カルテ端末で閲覧可能にし、最新の情報を職員へ発信し続けることにより、感染症に対する知識が深まり、対応力向上に繋がった。 ・上半期は、新型コロナウイルス第7波の影響で、発熱外来、コロナ入院患者対応の増加及び職員自身の感染、濃厚接触者該当もあったが、院内感染（クラスター）が発生することもなく、医療サービスの提供を継続している。 				
令和4年度下半期の取組実績	<p>【①人材の育成、職員研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度職員研修計画を策定した。 ○職員研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修：新任主任研修など ・選択希望制研修：eラーニング研修（デザイン思考、マーケティング、ビジネスマナー） ○派遣研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・JAMP：「スポーツ行政の推進」 ・JIAM：「これからの農業を考える」など6件 ○他団体への派遣研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 株式会社博報堂、株式会社京都パープルサンガ、一般社団法人森の京都地域振興社、京都府 				
	<p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】</p> <p>数値目標3回／年度に対し、医療安全管理に係る研修を2回、感染対策に係る研修を1回、合計3回実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理に係る研修：全職員対象の動画視聴研修 「医療チームにおける心理的安全性の重要性とその活用」をテーマとして、心理的安全性を正しく理解し、医療安全文化の醸成することを目的として実施。心理的安全性の必要性を学ぶことで、職場環境の見直しにつなげた。 ・医療安全管理に係る研修：職員参加型の「地震発生訓練」 職員と患者の生命を守るため、地震発生時の初動対応、災害対策本部設置、初動対応報告を目的として、地震が発生したシミュレーションによる職員が初動対応訓練を実施。地震発生時における具体的な役割、行動をイメージすることで、職員の対応力強化、災害発生時の行動に対する意識向上につなげた。初動対応報告書の内容、設備面の問題、実際の動線等々、様々な意見、課題が出され、院内ワーキンググループ等で改善に向けて協議している。 ・感染対策に係る研修：全職員対象の動画視聴研修 「針刺しおよび血液・体液曝露について」をテーマとして、医療従事者が感染を受けるリスク、曝露防止、曝露後の対応や針刺しの現状についての研修を実施。感染源、感染経路、予防策についての知識を身に付けることで、感染予防、対応力の向上につなげた。 				
	<p>【①人材の育成、職員研修の充実】</p> <p>ウィズ・コロナの状況を踏まえ、実施方法や内容の見直しを行いながら、職員研修を実施する必要がある。</p> <p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】</p> <p>今後も公立病院として適切な目的で研修会を開催し、職員的能力（対応力）強化に努め、災害時に対応できるよう、課題点などを見直し、研修会等により職員全員で情報共有し対応力、意識向上に努める必要がある。</p>				
今後の課題					

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】感染対策に係る研修会の実施
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 新型コロナウイルス感染症拡大により、集合研修や派遣研修の実施が難しいなか、テキスト研修や動画研修などの実施も行った。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値) 115人	
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修及び感染対策に係る研修を計4回実施することができた。 医療安全管理研修を実施することにより、職員の医療安全管理の能力向上に繋がりが、また、感染対策研修で新型コロナウイルス感染症に対する知識を深めることにより、実際の発熱外来、入院環境整備で活用することができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値) 4回	
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】eラーニング研修などコロナ禍に対応した新しい研修手法を導入し、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理に係る研修及び新型コロナウイルス関連等の感染対策研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	3	II 目標	3	III 妥当性	3
		② I 計画	5	II 目標	4	III 妥当性	4
R3年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る自己研修の実施
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 コロナ禍のなかで、集合研修、派遣研修、テキスト研修や動画研修など研修方法を工夫しながら実施することができた。					
	達成度	計画	3	目標	2	目標 (実績値) 80人	
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修及び感染対策に係る研修を計3回実施することができた。研修により、医療安全及び新型コロナウイルスに関しての知識を得て、職員の能力向上をすることができた。					
	達成度	計画	4	目標	4	目標 (実績値) 3回	
未達成の原因と 今後の取組	【①人材の育成、職員研修の充実】 コロナ禍のため、中止となった研修があったため。今後も継続して、職員研修の充実を図る。						
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 今後も継続して、eラーニング研修などコロナ禍に対応した研修手法を導入し、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理に係る研修及び新型コロナウイルス関連等の感染対策研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	3	II 目標	2	III 妥当性	3
		② I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用				
所管課	人事課	関係課	—				
取組内容	職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような人事評価制度の運用を図る。 また、毎年度の実施状況等に応じてより良い評価制度となるよう、制度の見直しを行う。						
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成 ・ 組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる 						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	人事評価	実施		実施	実施	実施	実施
	<small>(職務目標の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談)</small>						
	人事評価制度の見直し	実施		実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

進捗管理シート

R4年度 実施状況	上半期 計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)	実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、行動記録表の記入			
	下半期 計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証	実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談(育成面談)、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			
実施結果の 自己評価	評価	令和2年度から本格実施しており問題なく実施できた。制度理解が進み定着してきていると思われる。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画		II目標		III妥当性	

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用	所管課	人事課
		令和4年度上半期の取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○職務目標設定 人事評価のうち業績評価に係る「職務の目標」を被評価者本人が設定した。「職にふさわしい目標か」「成長につながる目標か」「組織目標を踏まえた目標か」「何を」「いつまでに」「どの水準まで」「どのように」といった視点を踏まえ設定した。 ○スタートアップ面談 被評価者と1次評価者との間でスタートアップ面談（目標設定面談）を行い、業績評価の「職務の目標」が被評価者にとってふさわしい目標となっているのかを確認のうえ確定し、認識の共有化を図った。職位や組織目標との整合性が取れていない場合は目標の修正を指導した。その他業務遂行に際しての双方の要望や意見等について話し合いを行った。 ○行動記録表 評価者は部下を評価する際の参考資料として、日頃から部下の行動を見守り、望ましい行動、望ましくない行動、それらに対する指導内容などを随時「行動記録表」に書きとめた。 		
		令和4年度下半期の取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○フォローアップ面談 新規採用職員等、特に育成の必要な職員について、必要に応じて1次評価者が面談し、目標達成に向けた進行管理や問題点等についてアドバイスをし、今後の方向づけや動機づけを行った。 ○能力評価、業績評価、総合評価 本人、1次・2次評価者の順で、能力評価、業績評価、総合評価を実施。 ○フィードバック面談（育成面談） 1次・2次評価者が連携しながら、人事評価の結果を被評価者にフィードバックし、今後の能力開発、育成点等をアドバイスした。 ○最終評価 市長による最終評価を実施。 ○最終評価結果の開示 最終評価結果を本人に開示。 ○ステップアップ面談 希望する職員を対象に職務状況シート等の内容に沿って配置希望等の聞き取りを行い、キャリアアップに向けたアドバイスをを行った。 ○実施状況・結果の検証 実施状況や結果を検証し、今後の見直しの必要性を検討する。 		
		今後の課題	さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。		

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）			実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、行動記録表の記入、人事評価研修（評価者・被評価者）の実施
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談（育成面談）、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証
実施結果の 自己評価	評価	制度見直し後、1年間の試行期間を経て令和2年度から本格実施となったが、特段問題なくスムーズに実施できた。新型コロナウイルス感染症拡大により集合形式での人事評価研修が実施できず書面研修となったが、一定制度理解が進んだと思われる。					
	達成度	計画	3		目標	-	
未達成の原因と 今後の取組		-					
今後の方向性		継続	コメント	本格実施後1年が経過したところであるが、さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-	
R3年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）			実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、行動記録表の記入
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談（育成面談）、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証
実施結果の 自己評価	評価	制度見直し後、1年間の試行期間を経て令和2年度から本格実施となったが、特段問題なくスムーズに実施できた。制度理解が進んだと思われる。					
	達成度	計画	3		目標	-	
未達成の原因と 今後の取組		-					
今後の方向性		継続	コメント	さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-	

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進				
所管課	財産管理課		関係課	各施設所管課			
取組内容	公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（施設の廃止、統合等）などを検討し、効率的・効果的な施設運営のあり方を検討し、見直す。						
期待される効果	施設の適正化により安定した財政運営を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	施設の廃止、統合等の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
	各施設個別計画の策定		実施	実施			
	各個別施設計画の内容精査					実施	実施
目標指標	数値目標	建築施設延床面積削減率（平成28年対比）	1.48%	1.85%	2.22%	2.59%	2.96%

進捗管理シート

R4年度 実施状況	上半期 計画	建築施設の延床面積削減のための研究・検討	実績	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議を開催し、令和3年度末時点での延床面積削減率及び各公共施設の現状等の共有化			
	下半期 計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催および会議結果を踏まえた今後の方向性の検討	実績	今後の方向性を検討（除却施設のみならず、除却予定施設、長寿命化施設等、詳細な把握に努め更なる延床面積の削減に繋げる）			
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率について、数値目標を達成することができた。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	2.77%
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標		III 妥当性		

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

※公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（総量縮減）など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進	所管課	財産管理課
令和4年度上半期の取組実績			<p>亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議を開催。 令和3年度末時点での延床面積削減率及び各公共施設の現状等について情報共有を行い、亀岡市公共施設等総合管理計画に基づく平成28年度対比10.7%削減の目標達成に向けた意思統一を図った。</p> <p>●令和3年度末時点削減率 2.96%（平成28年度対比） 新築等…上下水道部庁舎、川の駅亀岡水辺公園 など 増築等…千代川小学校校舎増築 除却等…林業センター、平和台住宅 など</p>		
令和4年度下半期の取組実績			<p>上半期に開催の亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の会議結果を踏まえ、延床面積10.7%削減の目標達成に向けた今後の方向性について検討した。</p> <p>【検討内容】 除却施設のみならず、除却予定施設、長寿命化施設等、詳細な把握に努め更なる延床面積の削減に繋げていく。</p> <p>●令和4年度末時点削減率 2.77%（平成28年度対比） 新築等…KIRI no KO（木育ひろば）、文化財収蔵庫（南金岐）等 増築等…東部児童館（用途変更改修）、千代川小学校校舎増築 除却等…東部文化センター（用途変更改修）、若宮工場、車垣内住宅等</p>		
今後の課題			<p>多様化する市民ニーズに応える効率的で市民満足度の高い行政サービスの提供と安定した財政運営を両立するため、バランスのとれた公共施設の最適化を進めるとともに、削減に向けての具体的な方法を確認していく必要がある。</p>		

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催			実績	各個別計画策定状況の把握及び作成依頼
	下半期	計画	各個別施設計画の策定			実績	各個別施設計画の策定
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率は、数値目標を達成している。各個別施設計画の策定は、状況把握及び各施設所管課への作成依頼を行い、予定した全施設の計画策定を達成した。					
	達成度	計画	4		目標	4	目標 (実績値) 3.42%
未達成の原因と 今後の取組		-					
今後の方向性		継続	コメント	施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	4	III妥当性 3
R3年度 実施状況	上半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催			実績	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催
	下半期	計画	各個別施設計画を反映した、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂			実績	亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率は、数値目標を達成している。個別施設計画との整合を図るため、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂を行った。					
	達成度	計画	3		目標	3	目標 (実績値) 2.96%
未達成の原因と 今後の取組		-					
今後の方向性		継続	コメント	改訂された管理計画をもとに、施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	3	III妥当性 3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実				
所管課	広報プロモーション課	関係課	情報発信を行う各課				
取組内容	市政情報の市ホームページ、SNS等による積極的な発信						
期待される効果	積極的な発信によって市政情報を共有し、市民の市政への参画の促進を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	情報発信に対するレスポンス数の調査		実施	実施	実施	実施	実施
	調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の年度総計	310,000	315,000	640,000	640,000	640,000

進捗管理シート

R4年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査	実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 304,726件		
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し	実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期） 255,114件		
実施結果の 自己評価	評価	各種デジタルメディアを活用した情報発信により、各SNSのフォロワー数及び市公式HPの閲覧者を増加させることができた。					
	達成度	計画	3	目標	2	目標 (実績値)	528,453件
未達成の原因と 今後の取組	コロナに関する興味関心が薄れたことで、大幅なアクセス数減少が生じた。その反面、コンテンツに関して前年同期間より閲覧時間が18.02%増加するなど改善が見られた。						
今後の方向性	継続	コメント	ターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知度向上と各施策の効果的な情報発信につなげる。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実	所管課	広報プロモーション課
		令和4年度上半期の取組実績	<p>・情報発信に対するレスポンス数の調査 市ホームページへのアクセス件数、SNS（Facebook、LINE、Instagram）フォロワー数の総計を指標値とし、増減と動向を調査したところ、計304,726件となった。 行政サービス情報等を毎日発信したことにより、LINE等のフォロワー数の増加につながった。 同時に、Instagram広告・YouTube広告などを配信したことで、亀岡市を認知し、一定の興味をもって市HPに訪問する層の確認ができた。</p> <p>■亀岡市公式ホームページ（TOPページ）のPV数：273,339 ■LINEアカウントの友達数：21,670 ■Facebookフォロワー数：4,406 ■インスタグラムフォロワー数：5,311</p> <p>令和4年度上半期のレスポンス数総計：304,726</p>		
		令和4年度下半期の取組実績	<p>・情報発信のレスポンス数 計255,114件</p> <p>・各情報発信媒体の分析や、ホームページに流入してきたキーワードの調査により市民意見を拾う工夫を行った。</p> <p>・スマートフォンが使える層に対しては各種SNSなどを中心として、インターネットを利用されない人に対しては、広報誌による情報発信により、市政情報の共有化に努めた。</p> <p>■亀岡市公式ホームページ（TOPページ）のPV数：222,038 ■LINEアカウントの友達数：23,019 ■Facebookフォロワー数：4,499 ■インスタグラムフォロワー数：5,558</p> <p>令和4年度下半期のレスポンス数総計：255,114</p> <p>令和4年度のレスポンス数総計：528,453 ※令和3年度総計：756,034</p>		
		今後の課題	<p>・令和5年7月より、全世界で利用されているホームページのアクセス分析ツールの大幅な変更があり、流入数に大きな影響が出ることが予想され、計測システムへの習熟が必要。 <参考>https://support.google.com/analytics/answer/11583528</p> <p>・現状、市HPのTOPページを定期的に計測をしているが、各ページの定点観測は困難で、分析ツールの刷新も含めた、より相応しい指標の設定が必要。</p> <p>・同規模自治体との比較に関しては、次の理由により一概に比較することが難しいと考え、前年度のレスポンス数やSNSの増加率、検索数、ページの閲覧時間、直帰率といった指標をもとに比較していく。</p> <p>●デジタル広告配信の有無 ●観光資源の有無 ●市外からのアクセス割合 ●特別な流入数の増加要因 (テレビ出演や特別な施策などの有無)</p>		

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査			実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 512,982件
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し			実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期） 258,953件 ホームページのリニューアルに向け精査・検討を行った。
実施結果の 自己評価	評価	新型コロナウイルス感染症関連の情報をほぼ毎日発信したことにより、アクセス数・フォロワー数が増加した。ホームページのリニューアルに向け、掲載記事の精査・課題等の協議を行った。					
	達成度	計画	4		目標	5	目標 (実績値) 753,486件
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	令和3年11月から新ホームページの運用開始予定。スマートフォン等での閲覧を前提とし、さらなる情報発信の強化と利便性を旨とする。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	4	III 妥当性 3
R3年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査			実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 383,050件
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し			実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期） 400,301件
実施結果の 自己評価	評価	各種デジタルメディアを活用した情報発信により、各SNSのフォロワー数及び市公式HPの閲覧者を増加させることができた。					
	達成度	計画	5		目標	5	目標 (実績値) 756,034件
未達成の原因と今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	ターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知度向上と各施策の効果的な情報発信につなげる。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	4	III 妥当性 3

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証				
所管課		財政課	関係課	全課			
取組内容	経常的経費（※）を含む事務事業の実態を把握、検証した上で、事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド（※）などを徹底することで、健全で持続可能な財政運営を行う。						
期待される効果	最少の経費で最大の効果を挙げることの徹底						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	財政担当による経常的経費を含む事務事業の見直しや改善・課題点などの検討		実施	実施	実施	実施	実施
	主管課による事務事業の実態把握及び検討		実施	実施	実施	実施	実施
	検討事項の審査		実施	実施	実施	実施	実施
	当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルドなどの実施		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	経常的経費における事務事業の見直し（検討数）	10	10	10	10	10

進捗管理シート

R4年度 実施状況	上半期 計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査	実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始			
	下半期 計画	審査結果に基づく当初予算などの編成	実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定			
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度から引き続き抑制することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	10件
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	II目標	III妥当性			

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

※経常的経費…義務的経費（支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計）のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。

※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証	所管課	財政課
令和4年度上半期の取組実績			<p>持続可能で安定した財政運営を維持しつつ、ウィズコロナ時代に向けた事業にも財源を投下できるよう、次のとおり既存事業の見直し等を実施した。</p> <p>令和4年7月4日 既存事業の見直し等について各部へ照会</p> <p>令和4年8月24日 11部33事業について市長、副市長と ～9月1日 各部長によるヒアリングを実施</p>		
令和4年度下半期の取組実績			<p>サマーレビュー等に基づき、当初予算における要求上限額の決定、通知等を行った。</p> <p>また、サマーレビューの実施においては、経常的経費を含む10事業を縮減し、事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底すること等により、財政調整基金の取崩額を前年度から引き続き抑制することができ、持続可能な財政運営を見据えた当初予算編成を行うことができた。</p>		
今後の課題			<p>コロナ禍の影響やエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響により、財源不足や追加の生活者や事業者を支援するための対応事業等が見込まれることから、更なる経費節減に努める必要がある。</p>		

(参考)

進捗管理シート

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査			実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成			実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度より抑制等することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。					
	達成度	計画	5		目標	5	目標 (実績値) 20件
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	5		II目標	5	III妥当性 4
R3年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査			実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成			実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度から引き続き抑制することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。					
	達成度	計画	4		目標	4	目標 (実績値) 13件
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	4	III妥当性 3

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行				
所管課	財政課	関係課	全課				
取組内容	償還財源に多額の一般財源を充当することから、市政運営の根幹にかかわる事業を除き、市債は、公債費の元金償還額を上回らない発行額とすることで、健全財政を維持する（※）。						
期待される効果	償還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	元金償還額を上回らない市債の発行		実施	実施	実施	実施	実施
	公債費の抑制		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	年度末の市債残高	421.0億円	418.5億円	416.0億円	413.5億円	411.0億円

進捗管理シート

R4年度 実施状況	上半期 計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討		実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討		
	下半期 計画	検討結果に基づく当初予算等の編成		実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金 償還額を上回らない市債発行となる当初予算 を編成		
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、年度末の市債残高を削減することができた。					
	達成度	計画	3	目標	5	目標 (実績値)	390.6億円
未達成の原因と 今後の取組		-					
今後の方向性		継続	コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

- ※一般財源…使途が特定されない財源のこと（市町村税や普通交付税など）。
- ※市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となる時に、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。
- ※公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金（地方債）の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。
- ※元金償還額…市債の元金返済額のこと。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行	所管課	財政課												
令和4年度上半期の取組実績			<p>少子高齢化による社会保障関係経費の増加等の課題に対応しつつ、健全で持続可能な財政運営を維持するため、現在の財政制度等が継続すると仮定して、今後、5年間の中期財政見通しを毎年度作成している。</p> <p>今年度の中期財政見通しを作成するにあたり、今後見込まれる事業等について各部へ照会し、健全財政を維持しながら市債の発行を抑制するため、普通建設事業費について、当該事業に係る市債発行額が、令和5年度～9年度までの元金償還額の平均額約35億円を上回らないように努めることで、市債残高を減少させられるよう検討を進めた。</p>														
令和4年度下半期の取組実績			<p>毎年10月に作成する、今後5年間の本市の財政見通しである「中期財政見通し」において、各年度の市債発行額が元金償還額を上回らないような計画を立てた上で、令和5年1月の当初予算編成段階において、効率的な行政運営を見据える中で、より具体的な市債発行を伴う事業の優先順位等をさらに精査し、国府の補助金等の十分な活用を検討することで、元金償還額を上回らない市債発行となる当初予算の編成につなげた。</p> <p>（令和5年度当初予算額）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>歳入</td> <td>22款</td> <td>市債</td> <td>2,192,800千円</td> <td>…</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>12款</td> <td>公債費中、元金</td> <td>3,800,312千円</td> <td>…</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>①市債借入額 - ②元金償還額 = △1,607,512千円</p>	歳入	22款	市債	2,192,800千円	…	①	歳出	12款	公債費中、元金	3,800,312千円	…	②		
歳入	22款	市債	2,192,800千円	…	①												
歳出	12款	公債費中、元金	3,800,312千円	…	②												
今後の課題			元金償還額を上回らない市債の発行に努めることで公債費の抑制に努め、健全な財政運営を維持する必要がある。														

(参考)

進捗管理シート

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討			実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、優先 順位等の検討
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成			実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金償還 額を上回らない市債発行となる当初予算を編成
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、公債費を削減することができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値)	407.4億円
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	4
R3年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討			実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成			実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金償還 額を上回らない市債発行となる当初予算を編成
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、年度末の市債残高を削減することができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値)	403.9億円
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	3

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート							
No.	13	取組項目	受益者負担の適正化				
所管課	企画調整課・教育総務課	関係課	使用料・手数料の所管課				
取組内容	受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較による現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。						
期待される効果	受益と負担の公平性を保つ						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①使用料・手数料の検証						
	使用料・手数料の状況把握、近隣市の状況調査		実施	実施	実施		
	調査結果の検証、近隣市との比較等による現状分析			実施	実施	実施	
	使用料・手数料の適正化の検討・見直し			実施	実施	実施	実施
	②学校施設使用料の検証						
	学校施設使用料の状況把握、近隣市の状況調査		実施				
	調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析		実施				
使用料徴収の適正化を検討・見直し			実施				
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	

進捗管理シート						
R4年度 実施状況	上半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 手数料の状況把握		実績	【①使用料・手数料の検証】 手数料の設定状況及び見直し状況の調査実施
	下半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 近隣市の状況調査、近隣市との比較 使用料・手数料の適正化を検討		実績	【①使用料・手数料の検証】 使用料・手数料の見直し状況および近隣の同規模自治体との比較調査を実施
実施結果の 自己評価	評価	【①使用料・手数料の検証】社会体育施設や有料公園施設について、令和4年4月1日から市内利用者と市外利用者の料金差を設定した。また、上半期は手数料の設定状況を調査し、概ね近隣市との均衡が取れていることが確認できた。下半期は手数料及び使用料の見直し状況を調査し、1件の見直しがあった。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組	-					
今後の方向性	継続	コメント	【①使用料・手数料の検証】使用料については、実際の運営状況や利用者の利便性を考慮した適正な価格設定に努める必要がある。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画		II目標		III妥当性

「資料2-2 評価シート」で評価してください。

令和4年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

No.	13	取組項目	受益者負担の適正化	所管課	企画調整課
令和4年度上半期の取組実績			<p>【①使用料・手数料の検証】 各所属における手数料の設定状況及び見直し状況の調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手数料の種類（予算別）：23種類（11課） ●手数料の設定根拠：近隣市町と同水準 ●過去5年間の手数料の見直し及び今後の見直し予定：0件 理由：近隣市町と同水準であり、均衡がとれているため 		
令和4年度下半期の取組実績			<p>【①使用料・手数料の検証】 各所属における使用料及び手数料の設定状況及び見直し状況の調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見直した使用料：1件（運動公園競技場） 理由：新たに午後5時から午後9時までの枠を新設し、全日の使用可能時間を4時間延長したことにより、時間分の料金を増額した。 例）入場料無料のアマチュアスポーツによる全日使用（休日） （変更前）午前9時～午後5時：14,300円 （変更後）午前9時～午後9時：24,950円 ※午後5時～午後9時の使用料は昼間の1.5倍 		
今後の課題			<p>使用料については、施設等の規模が市町村によって異なり、単純な比較が困難な場合もあるため、運営に係る経費や収入および利用者の利便性を考慮した適正な価格設定に努める必要がある。</p>		

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	【②学校施設使用料の検証】 学校施設使用料の現状把握			実績	【②学校施設使用料の検証】 平成27年度から令和元年度までの、「小学校施設使用料」「中学校施設使用料」から「平均」を算出。 京都府下の他市の「体育館使用料」「グラウンド使用料」「使用条例・規則」を調査し、亀岡市の使用料と比較。
	下半期	計画	【②学校施設使用料の検証】 近隣市の状況調査			実績	【②学校施設使用料の検証】 京都府内の他市の状況を調査し、亀岡市の使用料と比較した。また、亀岡市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正し、申請方法及び使用料徴収の改善を図った。
実施結果の 自己評価	評価	【②学校施設使用料の検証】近隣市の学校施設使用料及び使用条例を調査し、亀岡市との比較等による現状分析を行った。亀岡市の使用料が他市と比較して概ね適当であることが把握できた。また、亀岡市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正することで、使用者の負担軽減を図ることができた。					
	達成度	計画	5	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	【②学校施設使用料の検証】使用料徴収の適正化を検討し、使用料支払いの利便性の向上を図っていく。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4	II目標	—	III妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 使用料・手数料の状況把握 【②学校施設使用料の検証】 使用料徴収の適正化を検討・見直し			実績	【①使用料・手数料の検証】 使用料の状況把握のための調査に向けた事務を進めた 【②学校施設使用料の検証】 使用料の支払方法を拡大
	下半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 近隣市の状況調査、調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析 【②学校施設使用料の検証】 使用料徴収の適正化を検討・見直し			実績	【①使用料・手数料の検証】 使用料の設定状況調査、近隣市の状況把握・比較、 施設使用料の見直しを実施 【②学校施設使用料の検証】 使用料の支払方法を拡大
実施結果の 自己評価	評価	【①使用料・手数料の検証】 施設使用料を定める際の統一的な基準の設定について検討するため、施設使用料の設定状況について調査を行い、施設使用料の見直しを実施した。 【②学校施設使用料の検証】 キャッシュレス決済の導入により利用者の利便性を高めることができた。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	【①使用料・手数料の検証】 今後は、使用料・手数料の適正化について検証を進める。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	—	III妥当性	3

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024
実施計画 令和4年度取組結果

亀岡市政策企画部企画調整課

〒621-8501 亀岡市安町野々神 8 番地

TEL(0771)25-5006/FAX(0771)24-5501

E-Mail yume-vision@city.kameoka.lg.jp